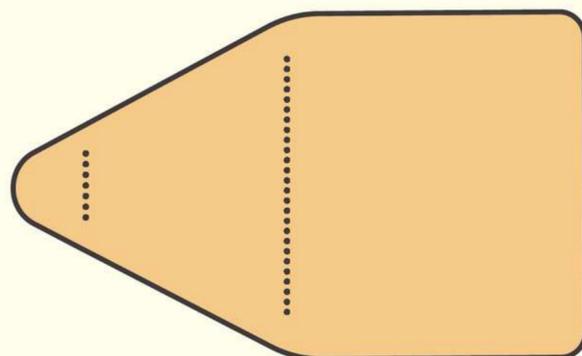
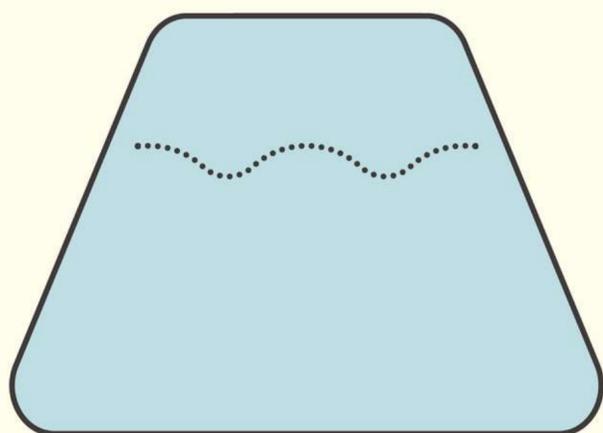
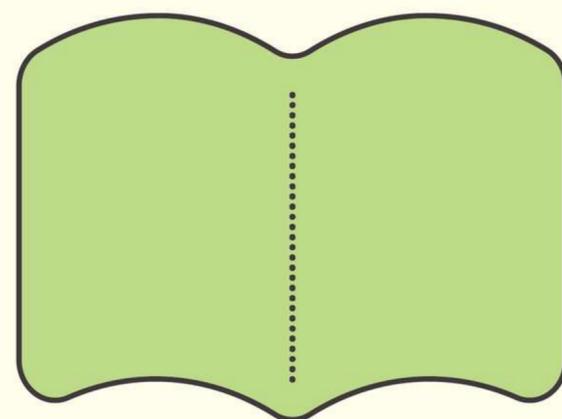


全国大学コンソーシアム 研究交流フォーラム

第20回

.....
.....
.....



大学コンソーシアムが紡ぐ持続可能な地域社会づくり

～アフターコロナ時代を見据えた新たな価値の創造を目指して～

開催日時

2023(令和5年)9月2日(土) 13:30～19:30
3日(日) 10:00～12:00

開催場所

常葉大学静岡草薙キャンパス(静岡市駿河区弥生町6-1)

【共催】全国大学コンソーシアム協議会、公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム

【後援】文部科学省、一般社団法人国立大学協会、一般社団法人公立大学協会、一般社団法人日本私立大学連盟、日本私立大学協会、
全国公立短期大学協会、日本私立短期大学協会、全国知事会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、日本経済新聞社、一般社団法人共同通信社、
静岡県、静岡市、静岡県市長会、静岡県町村会、静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社

写真提供:静岡県観光協会、富士市



テーマ

大学コンソーシアムが紡ぐ 持続可能な地域社会づくり

～アフターコロナ時代を見据えた新たな価値の創造を目指して～

大会趣旨

現在、大学をはじめとしたそれぞれの高等教育機関は、
研究や若者の教育・人材の輩出に留まらず
イノベーションを創出する「知の拠点」や地域文化の担い手など様々な役割を果たしています。

一方、少子高齢社会、地球環境問題、新型コロナウイルス感染症、
デジタル社会へのシフトなど、山積する課題に対応し、持続可能な社会をつくるには、
高等教育機関単体のみならず、高等教育機関相互や行政・産業界など様々な主体と連携し、
地域を巻き込んだ交流があって、初めて実現できるものと考えられます。

そこで今回のフォーラムは、今後の持続可能な地域社会づくりのため
大学コンソーシアムが関与してきた様々な連携の形を考察するとともに、
アフターコロナ時代を見据え、新たな価値の創造を目指した
今後の大学コンソーシアムの姿を展望することを目的として開催します。



スケジュール

第1日目 9月2日(土)

10:30 受付 ●A棟2階出入口

12:00

12:30 開場

13:15

13:30 開会・挨拶 ●2階A201(B201※)

黒坂光氏 全国大学コンソーシアム協議会代表幹事
日詰一幸氏 静岡大学学長(ふじのくに地域・大学コンソーシアム理事長)
出野勉氏 静岡県副知事

13:50 基調講演(第20回記念講演) ●2階A201(B201※)

テーマ:日本の大地・静岡の大地～大規模自然災害と高等教育機関の危機管理～
尾池和夫氏 静岡県立大学学長(ふじのくに地域・大学コンソーシアム副理事長)

14:50 休憩

15:00 シンポジウム ●2階A201(B201※)

テーマ:持続可能な地域社会づくりに向けた大学コンソーシアムへの期待
コーディネーター:日詰一幸氏 静岡大学学長(ふじのくに地域・大学コンソーシアム理事長)
シンポジスト:出野勉氏 静岡県副知事
酒井公夫氏 静岡鉄道株式会社代表取締役会長
池上重弘氏 静岡県教育委員会教育長(ふじのくに地域・大学コンソーシアム理事)

16:30

17:15 文教行政報告 ●2階A201(B201※)

テーマ:高等教育政策の動向について
山田研市氏 文部科学省高等教育局大学教育・入試課課長補佐

17:45 閉会 黒坂光氏 全国大学コンソーシアム協議会代表幹事

18:00 情報交換会 ●会場:1階グラン・テーブル

開場 12:00

ポスターセッション

大学紹介コーナー
●1階ナレッジスクエア

総会

●2階
第5会議室

コアタイム

第2日目 9月3日(日)

9:30 受付

10:00 分科会

第1分科会●2階A210 ・公益財団法人大学コンソーシアム京都
第2分科会●3階A308 ・公益社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩
第3分科会●3階A309 ・公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム
第4分科会●3階A310 ・特定非営利活動法人大学コンソーシアム大阪

12:00

第1日目

2023(令和5)年 9月2日(土)

基調講演(13:50~14:50)

日本の大地・静岡の大地~大規模自然災害と高等教育機関の危機管理~

本年は1923年9月1日に発生した関東大震災から100年の節目に当たります。近い将来必ず起こると言われている「南海トラフ巨大地震」を始めとする大規模自然災害等に対しては、静岡県内だけではなく、全国の各高等教育機関においても、危機管理や防災対策が必要となります。講演では、主に地球科学や地震学の観点から、発生し得る自然災害等のリスクと、今後行っていくべき対策について考察します。さらに、人為的な災害も含めた危機管理全般に対する、高等教育機関のガバナンスのあり方等についても、参加者の皆さんとともに考えてみたいと思います。

講演者 尾池和夫氏 静岡県立大学学長

略歴:静岡県公立大学法人理事長・静岡県立大学学長。1940年東京で生まれ、高知で育った。1963年以来、京都大学。理学部長、副学長などを兼任し、2003年から京都大学第24代総長を務め、京都芸術大学学長を経て、2021年4月1日より現職。日本地震列島(朝日文庫)、四季の地球科学(岩波新書)、季語の科学(淡交社)など著書多数。

シンポジウム(15:00~16:30)

持続可能な地域社会づくりに向けた大学コンソーシアムへの期待

本シンポジウムでは、ふじのくに地域・大学コンソーシアムの取組事例を踏まえつつ、大学コンソーシアムが紡ぐ持続可能な地域社会づくりについて、本県の産学官それぞれの視点から意見を述べ、討論を行います。

コーディネーター 日詰一幸氏 静岡大学学長

略歴:1955年生。長野県出身。名古屋大学大学院法学研究科博士後期課程中途退学。名古屋音楽大学専任講師を経て、1996年静岡大学人文学部助教授。2000年より静岡大学人文学部教授(2012年学部名称変更により静岡大学人文社会科学部教授)。2021年4月より静岡大学学長に就任。専門は、行政学、地方自治論、NPO論など。

シンポジスト1 出野勉氏 静岡県副知事

略歴:昭和50年3月 新潟大学人文学部卒業、昭和50年4月 静岡県採用、平成16年4月 企画部知事公室長、平成19年4月 厚生部理事(ファルマバレー担当)、平成20年4月 観光局長、平成22年4月 文化・観光部長、平成24年4月 知事戦略監兼企画広報部長、平成25年3月 静岡県退職、平成25年5月 富士山静岡空港株式会社代表取締役社長、令和2年4月 静岡県副知事(現職)

シンポジスト2 酒井公夫氏 静岡鉄道株式会社代表取締役会長

略歴:1978年 慶應義塾大学商学部卒業、静岡鉄道株式会社 入社、1997年 同社 取締役自動車営業部長、1999年 同社 常務取締役、2003年 同社 代表取締役専務、2005年 同社 代表取締役社長、2015年 同社 代表取締役会長(現任)、
公職として 2016年静岡商工会議所会頭に就任、現在は名誉会頭として、地域の活性化に取り組んでいるほか、静岡県自動車会議所会長などを歴任し、静岡県内における自動車業界の発展に貢献している。

シンポジスト3 池上重弘氏 静岡県教育委員会教育長

略歴:平成20年4月 静岡文化芸術大学教授、平成27年5月 地域自立のための「人づくり・学校づくり」実践委員会副委員長、平成28年4月 静岡文化芸術大学文化・芸術研究センター長、平成29年1月 静岡文化芸術大学副学長、令和2年4月 静岡文化芸術大学英語・中国語教育センター長、令和2年4月 才徳兼備の人づくり小委員会委員長、令和4年4月 静岡県教育委員会教育長(現職)

文教行政報告(17:15～17:45)

高等教育政策の動向について

昨今の国における高等教育政策の動向について、ご報告いただきます。

講演者 山田研市氏 文部科学省高等教育局大学教育・入試課課長補佐

略歴:

平成17年4月	文部科学省高等教育局大学振興課
平成25年4月	// // 私学部参事官付総括係長
平成26年4月	// // // 私学行政課専門職(総務担当)
平成28年4月	(独)国立高等専門学校機構本部事務局企画課長
平成29年4月	電気通信大学教務課長
平成30年4月	// 総務課長
令和2年4月	文部科学省高等教育局学生・留学生課専門官
令和4年4月	// // // 課長補佐(命)留学生交流室室長補佐
令和5年4月	// // 大学教育・入試課課長補佐

ポスターセッション(12:00～17:15)(コアタイム 16:30～17:15)

ポスターセッションでは、全国のコンソーシアム組織の先進的な事例や活動状況を紹介します。実践的な取組や色々な情報を収集いただく場として、ぜひご活用ください。

大学紹介コーナー

ふじのくに地域・大学コンソーシアムに加盟する21の高等教育機関の大学紹介コーナーを設置します。静岡県内の高等教育機関の情報が一堂に会する貴重な機会となりますので是非お立ち寄りください。

情報交換会(18:00～19:30)

情報交換会では、立食形式で飲食しながら、全国から参加いただいたコンソーシアム関係者と情報交換ができます。静岡の地元食材を使用したお食事皆様をおもてなししたいと思いますので、ぜひご参加ください。

昼食のご案内

第1日目の昼食として、お弁当をご用意いたします。希望される場合には、フォーラムの「参加申込フォーム」(6ページ目)による事前の申込みが必要です。事前申込みのない場合は、をご用意できませんので予めご了承ください。

当日は会場内の食堂・コンビニは営業していません。(食堂への飲食物の持ち込みは可。)

お弁当を希望されない場合は、昼食は静岡駅周辺で済ませてからお越しくください。

※会場の最寄り駅である草薙駅周辺にはあまり飲食店はございません。

※代金1,000円(お茶付き・税込)は、当日お支払いいただきます。

第2日目

2023(令和5)年 9月3日(日)

10:00～12:00

第1分科会

公益財団法人大学コンソーシアム京都

「障害学生支援と大学間連携」

障害のある学生に対する修学支援(合理的配慮等)は、各大学等で取り組むべき課題となっています。一方で、大学等の規模や取り組みの実績などによって、情報やノウハウ等の蓄積には濃淡があるため、大学間連携を通じて相互に補完していく取組を進めることには、大きな意義があるといえます。本分科会では、いくつかの地域における大学間連携の事例などを共有し、大学間連携を通じて障害学生支援を促進させるための取組等について検討したいと考えています。

報告者

生川 友恒氏 静岡大学学生支援センター
障害学生支援部門・准教授
濱田 里羽氏 金沢大学国際基幹教育院・助教/
障がい学生支援室・専任教員

コーディネーター・報告者

村田 淳氏 京都大学 学生総合支援機構・准教授/
DRC(障害学生支援部門)・
チーフコーディネーター

第2分科会

公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩

「『地方創生』に産官学連携はどのような役割が期待できるか」

地方創生は一言でいえば、現場を知らない霞ヶ関版まちづくり。案の定、補助金ばらまきで効果はありませんでした。国をあてにせず、自前の地方創生策をいち早く実行した自治体の実績をあげています。そのような自治体では、産官学連携がどう機能しているのか、またすべきなのかを議論します。

報告者

清原 慶子氏 前三鷹市長
矢部 俊男氏 森ビル株式会社 都市開発本部
計画企画部メディア企画部 参与
土山 希美枝氏 法政大学法学部政治学科教授

コーディネーター

細野 助博氏 中央大学名誉教授、学術・文化・
産業ネットワーク多摩 専務理事

第3分科会

公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム

「大学と多様な主体との連携による災害への取組を考える」

昨今、地球温暖化等の影響による自然災害が増加し、とりわけ南海トラフ地震とそれに伴う津波の発生が危惧されています。発災前の備え、発災後の「学びの継続」や「教育の質」の確保、復興に向けた取組などには、大学単独のみならず、他大学や行政、産業界、地域社会など多様な主体との情報共有や相互支援が必要となることから、本分科会ではこれらの事例を参照しつつ、大学コンソーシアムが紡ぐ今後の大学の防災対策について考察します。

報告者

野本 粹浩氏 香川大学四国危機管理教育・研究・
地域連携推進機構
中村 隆行氏 東日本国際大学 副学長
金嶋 千明氏 静岡県危機管理部参事(市町支援担当)
兼静岡県地震防災センター所長

コーディネーター

楠城 一嘉氏 静岡県立大学 特任教授

第4分科会

特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪

「ウィズ/アフターコロナ時代の学生ボランティア活動」

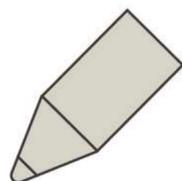
全国各地の大学コンソーシアムでは、地域やそのコンソーシアムの特色を生かしながら、学生の成長と学びの機会創出、また活動成果の還元のために様々なボランティア活動が進められています。コロナ禍で大きな行動変容を求められた学生が、この3年を経て、大学の枠を超えた新たな繋がりの中でのボランティア活動にいま何を求めるのか、また活動の在り方について、学生や活動を支援する大学コンソーシアム関係者間で意見交換をしながら、ウィズ/アフターコロナ時代のより良い活動のヒントを模索したいと思います。

報告者(学生)

井上 涼平氏、神高 涼氏 学生ボランティアチーム ACT
(大学コンソーシアム大阪)
石谷 結衣氏、和田 雄平氏、八王子学生委員会
中島 多栄子氏 (大学コンソーシアム八王子)
細田 大和氏、西村 彩恵氏 京都学生広報部
(大学コンソーシアム京都)

コーディネーター

松居 勇氏 大阪公立大学 ボランティア・市民活動センター
(V-station)ボランティアコーディネーター



申込のご案内

申込

1. 申込URLから「メールアドレス確認フォーム」にアクセスし、メールアドレスを登録する。
2. 登録したメールアドレスに「参加申込フォーム」のURLが届く。
3. メールに記載されている URL にアクセスし、申込み手続きをする。
4. 申込完了後、「申込み完了メール」が届く。

※申込み完了メールが届かない場合は、協議会事務局までお問い合わせください。

※申込み完了後の変更は、一切受け付けられません。

※基調講演者、シンポジスト、コーディネーター、分科会報告者の方は申込み不要です。

参加費の支払

1. 申込み手続き完了後、郵送で払込票が届く。
2. 最寄りのコンビニエンスストアで参加費を支払う。

※取り扱い可能店は払込票の裏面に記載されています。
なお、銀行・ゆうちょ銀行などの金融機関ではお支払いができませんのでご注意ください。

参加費支払期限

2023(令和5)年8月10日(木)24:00 まで

※申込み手続き・参加費支払いが完了していない方は参加できませんのでご注意ください。

※お支払いいただく参加費につきましては、印刷費、WEBシステム運営費、通信費など、諸準備に使用いたしますので、いかなる理由があっても返金等には応じられません。ご了承ください。報告集の代金をお支払いいただいている場合は、欠席された方にも後日送付いたします。

参加証の受領

参加費の支払いが完了したら、参加証がメールが届く。

※8月18日(金)になっても参加証(メール)が届かない場合は、協議会事務局までお問い合わせください。

当日

参加証(メールまたはプリントアウト)を持参し、受付にて提示する。

※代理の方が参加される場合は、参加証(メール)を持参して、当日の受付にてお申し出ください。

申込期間

2023(令和5)年6月21日(水)10:00

～7月28日(金)

申込区分	参加費	情報交換会費	報告集	合計	
参加のみ	一般	4,000円	—	4,000円	
	学生	0円	—	0円	
参加 + 情報交換会	一般	4,000円	4,000円	8,000円	
	学生	0円	2,000円	2,000円	
参加 + 報告集	一般	4,000円	—	1,000円	5,000円
	学生	0円	—	1,000円	1,000円
参加 + 情報交換会 + 報告集	一般	4,000円	4,000円	1,000円	9,000円
	学生	0円	2,000円	1,000円	3,000円

申込URL(アドレス)

<https://www.consortium.or.jp/project/zenkoku-conso/office>

もしくは

「[全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム](#)」で検索

全国大学コンソーシアム協議会加盟組織について

全国大学コンソーシアム協議会加盟組織に属している場合、申込みの際に所属組織をご入力ください。ご所属の機関が全国大学コンソーシアム協議会の加盟組織かどうかについては、以下のページをご参照ください。

お問い合わせ先

全国大学コンソーシアム協議会事務局

(大学コンソーシアム京都内)

<受付時間> 火曜～土曜 9:00～17:00

TEL: 075-353-9100

E-mail: alljapan-consortium@consortium.or.jp

URL: <https://www.consortium.or.jp/project/zenkoku-conso/office>



9/2(土)の昼食の申込みについて

昼食(弁当)購入の申込みは、フォーラムの参加申込みとあわせて、「参加申込フォーム」から行ってください。なお、申込みされない場合には、昼食(弁当)のご購入はできませんので、ご注意ください。

※詳細は4ページ目をご覧ください。

会場へのアクセス



静岡駅からのアクセス

・JR 東海道線 上り(熱海・東京方面)で草薙駅下車、北口から徒歩4分

静岡空港からのアクセス

・バス「静岡空港線(新静岡駅)」行で、JR 静岡駅下車後、JR 東海道線 上り(熱海・東京方面)で草薙駅下車、北口から徒歩4分

◎このほか、常葉大学の交通アクセスのページ (<https://www.tokohau.ac.jp/university/campus/kusanagi/>) もご覧ください。

お問い合わせ先

申込み・プログラムに関するお問い合わせ

全国大学コンソーシアム協議会事務局(大学コンソーシアム京都内)
〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下るキャンパスプラザ京都内
<受付時間> 火曜~土曜 9:00~17:00
TEL: 075-353-9100 FAX: 075-353-9101
E-mail: alljapan-consortium@consortium.or.jp

会場・施設に関するお問い合わせ

公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム事務局
〒420-0839 静岡県静岡市葵区鷹匠 3-6-1 もくせい会館 2F
<受付時間> 月曜~金曜 9:00~17:00
TEL: 054-249-1818 FAX: 054-249-1820
E-mail: mail@fujinokuni-consortium.or.jp